

令和4年度
PTA広報誌 第1号

やまびこ



2022年7月発行

PTA広報部

背景:小学部3年生

イラスト:小学部3年生

高等部1年生

☆ホームページにカラー版を掲載していますのでそちらもご覧ください☆



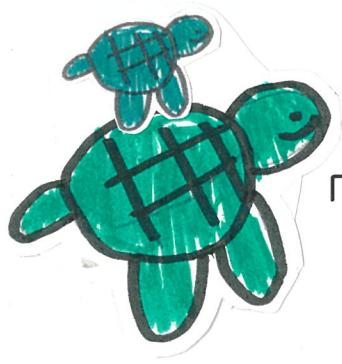
遠藤英樹

今年度の PTA 会長を拝命いたしました遠藤です。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

令和 2 年 1 月に桂台の新校舎へ移転して早いもので 3 年目に入りましたが、校舎の移転とほぼ時を同じくして、新型コロナウイルスの流行が始まってしまいました。この二年間はコロナ禍という言葉が定着してしまい、どこの学校や地域でも各種行事が制限されてきた中で、やまびこでは修学旅行や卒業式・入学式などの節目の行事はしっかり開催していただきました。校長先生をはじめ先生方の行事開催に踏み切るご決断と、日頃からの感染予防に対する高い意識に、保護者の私達は感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。

また、保護者が集う学校行事の開催が難しい中、先日は PTA 総会が久々に開催され、大勢の保護者の方たちと顔を合わせることができて大変うれしく思いました。徐々にコロナに対する制約が緩和されていく中で、今年度はどのような PTA 活動ができるのか、各専門部会の部長さんをはじめ役員の方々と模索しているところであります。

子供たちがより良い学校生活を送っていくために、学校と PTA が一体となって活動していくよう、微力ではありますが一年間会長として邁進していく所存です。保護者の皆様のご協力を引き続きお願いいたします。



「Withコロナ」での活動の再開・充実

校長 小林 勝

令和元年度末からのコロナ禍以降、保護者の皆様のご理解とご協力の下、児童生徒の中から感染者が一人も出ることなく、教育活動が継続できたことに、感謝申し上げます。

現在、職員及び児童生徒へもワクチン接種が進み、万が一感染しても重症化を防ぐ対応が整いつつあります。本年度はコロナ禍で制限を受け、できなかったPTA活動や教育活動について感染対策を整えた上で、一つ一つ通常の活動に近づけていく取り組みを進めています。

2年間、書面開催してきたPTA総会も本年度は体育館を会場にPTAの皆様が顔を合わせて行うことができました。感染状況を見ながら、専門部の活動も進めていければと考えます。

教育活動につきましては、県内特別支援学校では本校のみが、全校児童生徒のグループ学習を6月1日から行っています。また、授業参観につきましては、2年ぶりに1週間の期間を設けて、オンラインではなく来校いただき授業を見ていただきました。「やまびこまつり」につきましても「保護者観覧日」を設けることで、児童生徒の学習発表をご覧いただくこととしております。

他校ではできないことも、本校では児童生徒数が適正規模で、学校施設が整っているから可能となることがあります。PTAの皆様の大きなお力添えをいただき改築・移転ができたことにより、コロナ禍での子どもたちの教育保障の充実につながっております。

移転に合わせ、オープンする予定でした、地域に向けてのオープンカフェにつきましても高等部職業の授業で準備を進め、2学期以降、生徒の授業としてオープンする方向としております。

このように、PTAの皆様とともに、本校の資源を最大限活用した教育活動を開催し、子どもたち、PTA会員の皆様、地域の皆様を含め、「かがやく笑顔」に満ちた学校を目指していきたいと思います。

教職員一同、PTAの皆様と共に、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えておりますので、本年度も御理解と御協力を願いいたします。

みんなのえがおにつながるよう…

外出自粛や、自宅待機、様々な活動の制限など、うつむきがちになってしまふ今日この頃…。できない事ばかりに目を向けてしまいがちですが、ここで一度ポジティブに楽しいことに目を向けてみました！ご家庭や学校で思わず笑っちゃったエピソードや、心がほっこりあったまるエピソードをアンケートで募集したところ、たくさんのエピソードが集まりましたので、一部紹介します！！これを読んだら、落ち込み気味でもニッコリ笑顔になる事間違いなしです😊

思わず笑っちゃったエピソード 家庭編

気に入っている本を少しづつ破り、テープ補修を繰り返し、本が厚くなりすぎて…。テープ補修で大事にするのは良いのだが…(;^ω^)

父が着替えていると、ズボンをはかせてくれたり、くつ下をはかせようとしてくれます。もうすでに「介護」です(笑)

年の差がある兄妹。妹に「はやくしなさい！」とか「ちゃんとしなさい！」とかよくどなられている兄の姿がとても笑えます(笑)

父と子でクイズ番組を見ていて、父「答えは絶対に『○○だよ』100円かけてもいい。」とスゴ～ク自信ありげ。子は慎重に「ちがうよ。□□だよ。」と言いました。解答をオープンしたら、子が正解!!父「え～！」その姿にわらっちゃいました。

兄妹でかくれんぼしていて、身体の上にクッションを置いて隠れたつもり！「もーいーよー！」と言っていました(笑)

うちの子どもはいつもすごい寝相で寝ていますが、ある日の夜、寝室に行くと兄弟二人同じポーズで寝ていたのには笑いました。

テレビを見ながら熱唱していく、目が合うと恥ずかしくなって声が小さくなっていたこと

ママにチューしてくれていて、となりにいるパパをちらっと見て、またママにだけチューしてくれてニコニコしながらパパにはしてあげない(笑)(パパをからかっている)

就寝前の歯みがきタイム。娘と向かい合って仕上げ磨きをしている時、私のパジャマのボタンがはずれているのに気づいた娘は手をのばしてきました。歯ブラシでシャカシャカされながらも一生けん命ボタンをはめてくれようとする姿がおかしかったです。

高等部の現場実習のしおり、活動記録の記入欄に、午前「りさ」午後「りさ」と姉の名前を書いていました。お姉ちゃん大好きすぎ♡(笑)

お風呂の中で毎日、大声で歌っている。先日は「ジングルベル」を。歌っていた。なぜ今

家族に「いい子だね～♡」と言われたくて、ぬいぐるみをだっこしていい子いい子してなでてあげたあと、ほめてもうって満足して、ぬいぐるみをポイっと捨てる。

テーブルを拭いてくれて「えらいね～♡」と私(母や父)が言うと、となりの部屋にいるおばあちゃんを呼んで「えらいね」と言えと強要する(笑)

大好きなおかずが出ると食べるのが早い兄、ゆっくりとおかずを味わいながら食べる弟。弟がよそ見をしている間にサツとおかずを横取りする兄。スピードが速い為全然気づかれません。(笑)気づいた頃にはおかずが無くなっていて…。兄のとなりには座りたくない弟は言います。

自分の「おなら」の音で大笑いした時(笑ってごまかしているの?!)





ほっこり…心あたたかったエピソード

家庭編

お兄ちゃんが毎朝コップでジュースを飲むのですが、私がコップを持って行くと飲み終わるのをじっと見つめ、終わるとそのコップをキッチンに持って行ってくれる。
お兄ちゃんがこたつに入っていると、ふとんをかけてくれる。(お兄ちゃんに対して過保護。(笑))
私(母)がつかれてゴロンとねころぶと、クッションを持ってきてくれて、となりに寝てくれる。

私が具合が悪かった時にソファーで休んでいたところ、子どもが毛布をかけてくれました。その気遣いにほっこりしました。

難しい百科事典などの、到底わかるはずのない本を暇つぶしに開いて見ている。

疲れてぐずり泣いている兄(本人)に2歳の弟が、「よしよーし、どこがいたいの一?だいじょーぶよーなかないでー、ちょっとねるかー?」と頭をなでてなぐさめていて、ほっこり

牛乳をコップに注ぐときに弟の分も注いでくれます。優しい優しいおにいちゃんです。

兄弟が小さい頃、お父さんのことが大好きすぎて父がトイレに入ると二人共、トイレに入り込み、便器を対面にしゃがみ、父の用足しが終わるまで待っていました。その様子を父目線で撮った写真が母の宝物で今もちよいちょい見では、「オキシトシン」大放出の父と母です♡♡♡

めちゃくちゃ可愛いです

具合が悪そうなのを見てさりげなくお手伝いをしてくれたこと。

夜眠っているときに突然声を出して笑っています。どんな楽しい夢を見ているのかな~?

まだあまりよく話せない子どもが私の誕生日にポツッと「お誕生日おめでとう」と言ってくれました。（ダンナの仕込みかもしれません…）

子どもが私の手をつかんで、催促するのですが、某CMの「お誕生日おめでとう」と言いながら、手を合わせるとケラケラ笑ってくれます。子供の笑顔を見る本当に幸せな気持ちになります。

緑がさわやかな季節。青空の下、「ホー・ホーケキヨ」との鳥の声。娘とその声に答えようと口笛を「ホー・ホーケキヨ」と真似してみると鳥（おそらくウグイス）から「ケキヨ」と返事。何回か繰り返してみたら、必ず返事の鳴き声が。娘とほっこりしたできごとでした。まるでシンデレラ。

ふと隣を見たら、兄妹で「ホッペ♡」と言ってホッペ同士をくっつけ合ってスリスリして「キャッ!! キャッ!!」言いながら楽しそうにじゃれ合っている二人の姿にホッコリしました♡

体温計を脇にはさむといつも具合悪そうな演技をして私に寄りかかってきます。ぐったりしなきゃいけないと思い込んでいるみたいです。毎日の演技楽しみにしてるよ♡

休みの日に自分の用事を済ませて下の娘と息子が静かだな？と思って部屋を見たら、娘のふとんの中に息子が入って仲よくそのふとんの中で遊んでいる姿を見てほっこりしました。

アンケートのご協力、
ありがとうございました！！



「新入生紹介」のコーナーは、個人情報のため、
ホームページへの掲載を控えることになりました。
紙面にてご覧ください。

編集後記

コロナ禍も三年目になり、世の中が少しずつ明るい方向へ歩き出して來たようです。保護者が来校する機会も増え、広報部でも第1号の編集作業が和気あいあいと行われました。

子ども達の個性豊かなイラストに感動したり、アンケートで募集した笑顔のエピソードに触れたりして楽しい時間を共有することができました。

発行にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございます。このまま穏やかな日々が続き、次号もたくさんの笑顔をお届けできることを祈っております。

令和4年度 広報部

上條 秦 畑野 細田

